

# おかげさま 原中学校便り72号

## 前期人権教育月間 校長講話より

アメリカの初代大統領ワシントンは子どものころ、たいへんないたずらっ子でした。そこでお父さんが、悪いことをするたびに柱に太い釘を打つと、柱はたちまち釘だらけになりました。しかし、ワシントンが友だちに優しくしたり、いいことをしたりすると、釘を1本ずつ抜いてくれました。そのうち、ワシントンは人に優しくできるようになり、釘が全部抜けました。その時、お父さんはワシントン呼んで「とてもいい子になってうれしい。柱に釘は1本もなくなつた。」と柱をなでました。ワシントンも喜びました。しかし、お父さんが「でも、ここにできた釘の穴は、神様でなければ埋めることはできない。」と言つたのです。ワシントンは「ハッ」と気づきます。柱に付いたたくさんの釘の痕は元に戻ることはありません。「人を傷つけ、悲しませてしまうと、いくら後から謝つて『いいよ』と言つてくれても、ずっと相手の心の中に傷として残つてしまう。だから、人を悲しませることは、絶対にしてはいけないんだ。」と。それ以来、ワシントンは、人に対して優しい、思いやりのある行動をとつていったといひます。人をからかったり、いじめたりすることは、相手の人を傷つけることになりません。心の中に、釘の痕のような傷が、深く、いつまでも悲しい気持ちとして残つていきます。この心の傷は、与えた側は忘れてしまつても、受けた側は決して忘れることはありません。だから絶対にしてはいけないし、このようなことを絶対に許してはいけないのです。原中学校の生徒は人を傷つけること、心の中に深い傷を残すようなことは絶対にしないと信じています。原中学校の生徒、先生方、保護者、地域の皆さんは、このようなことは絶対に許さないという決意でい続けたいと思ひます。

本年度は「自他を大切に、違いを愛し、日常を幸せに感じられる原中生」を人権教育のテーマとして、進めてまいります。校長講話をスタートにして各学年での人権に関わる学習を進めました。前期人権月間は終わりましたが、学校生活のあらゆる場面で人権を意識した生活を送つていきたいと思ひます。ご家庭でもぜひ話題にしてみてください。

R1.8.10

## 中体連諏訪・南信・県大会 陸上部北信越・全国大会へ

中体連の各種大会が終了しました。陸上部の1名が北信越大会・全国大会へ駒を進めました。

### □ 諏訪大会

- [バスケットボール] 女子 ●諏訪 (40-74) 男子 ●茅野東部 (30-77)  
[男子バレー] ●下諏訪 (0-2) ●長峰 (0-2) ○諏訪清陵 (2-0) ○永明 (2-0) 7位南信大会出場  
[女子バレー] ●諏訪西 (0-2) ○諏訪南 (2-0) ●永明 (1-2) ○岡谷東部 (2-0) 9位南信大会出場  
[サッカー] △永明 (0-0) ●岡谷東部 (1-5) ●茅野北部 (0-2)  
[野球] ●長峰 (3-4)  
[剣道] 個人戦5名出場 清水藍夏 ベスト8 南信大会出場  
男子団体戦出場 女子団体戦2位 南信大会出場  
[柔道] 牛山魁人 73kg級 5位  
[卓球] 個人戦7名出場 男子団体戦 8位

### □ 南信大会

- [男子バレー] ●伊那東部 (0-2) [女子バレー] ○箕輪 (2-1) ●阿智 (0-2) ベスト16  
[剣道] 個人戦1名出場 女子団体戦 ●辰野 ●松川  
[陸上競技] 安部桂史郎(棒高跳)1位 俣道心々美(棒高跳)1位 田口壱星(棒高跳)3位 長濱愛里咲(棒高跳)4位  
五味駿太(1年走幅跳)4位 濱璃音(四種競技)4位 岡戸優虎(2・3年 1500m)5位 日達羽流(棒高跳)6位  
柏原ひな(棒高跳)7位

#### 以上9名県大会出場

- [バドミントン] シングルス 小柳菜々 行田遙果 ベスト16

### □ 県大会 [陸上競技] 安部桂史郎(棒高跳)1位 4m40 大会新 北信越大会出場・標準記録を突破し全国大会出場 俣道心々美(棒高跳)7位 田口壱星(棒高跳)8位

- [体操] 酒井玲華 個人女子4種目(跳馬・段違い平行棒・平均台・床)出場

### □ 通信陸上長野県大会 安部桂史郎(棒高跳)1位 4m10 田口壱星(棒高跳)8位 2m80

### □ 長野県吹奏楽コンクール

南信A地区大会 A編成の部 銅賞

## 平和学習 「青い空の会」による朗読劇

七月三日に「青い空の会」の朗読劇による平和学習を実施しました。今年も「原爆」「戦争」に関するパネルの展示学習を行い、当日を迎えました。今年度は「いしぶみ」広島二中一年生全滅の記録」をテーマに、代表生徒5人も加わって朗読劇を行いました。

今回扱われた広島原爆による被害は、どこにでもあるような平凡な中学校に起きた非日常的なできごとでした。この考えるだけでも切なくなるような悲しいできごとを映像とともに見聞きした生徒たちは「怖かった。とても怖かった。私たちと同じ年の人たちや色々な罪のない人間が、たった一つの原子爆弾で命を奪われたり、ケガを負ってしまったたりして悲しかった。」という率直な感想をもつなど、心が大きく揺さぶられました。平和については、これからも大切に学習していきたいと思えます。

## 1年 八ヶ岳中央農業実践大学校・農林業体験学習

七月十七日、一年生はキャリア教育「原村学」(原村を知る)の一環として、八ヶ岳中央農業実践大学校で農林業体験学習を行いました。

午前は農業体験学習として、希望する講座に分かれて活動しました。生徒は自分たちの生活が動植物の命をいただき成り立っていることを実感し、命の尊さや食べることの意味について深く考えることができました。

また、午後は林業体験学習として、下草刈りや枝打ちなど森づくりを行いました。活動を通して、森林の役割や林業に従事する人の苦勞を知ることができました。

今回の学習を通して、自然と共に生きることの豊かさや勤勞の尊さを実感するとともに、私たちの暮らす原村にこれほどの研究施設があることを誇りに感じた一日になりました。



## 2年 八ヶ岳登山 硫黄岳登頂!

七月十七日・十八日、二年生は八ヶ岳登山に行きました。普段の行いの良さからか、両日とも天候に恵まれ、硫黄岳山頂からは、原村の山「阿弥陀岳」や八ヶ岳最高峰の「赤岳」をはじめ、遠く北アルプスまで見渡すことができました。ある生徒は登山後に、「明るく澄んだ八ヶ岳ブルーの空がいつぱいに広がり、周りにはいつもの何倍も大きく、立派に堂々とした山が、本当にきれいだった。これが登山の魅力だ」と感想を寄せてくれました。また、山小屋では、思い思いに時間を過ごす姿がありました。ある生徒は、水が豊富な赤岳鉱泉ならではの「風呂」につきり、体と心の疲れを存分に癒やしていました。そして、夕食では名物のステーキを堪能し、さらに夜は山小屋主人の柳沢太貴さんから四季を通じた八ヶ岳の魅力や、ご自身の生き方についてお話をお聞きしました。小さい頃は山小屋の手伝いが大嫌いだっただけの柳沢さん。「これからの人生の中で、何事にも挑戦してみる姿勢が大切だ」という言葉に大きな勇気をもらいました。終わりに、今年もお支えいただいた、登山ガイドの石川さん、比留間さん、武井さん、北原さん、医師の中田さん、看護師の原田さんに心より感謝申し上げます。



## 3年 ブロンズプロジェクト

三年生は「原村と生きる」をテーマに、キャリア教育「原村学」に取り組んでいます。一学期は、卒業制作につながる『ブロンズ像』制作に向け、活動を始めました。

五月三十日には、関口裕子さんをお招きして、ブロンズ像の詩に感動し、曲をつけられた経緯や、演奏をお聴きしました。

七月十七日には、八ヶ岳美術館のブロンズ像の洗浄を実施しました。歴代のブロンズ三十九体を、一つ一つ想いを込めながら磨きました。当日は、清水多嘉示の研究者である、武蔵野美術大学の黒川弘毅教授が偶然来館されており、ブロンズを制作するにあたってのアドバイスも頂きました。今年度のブロンズ像のテーマは「証」に決まりました。二学期にはそのデザインや詩について考えていきます。

生徒たちは、原村の誇る自然や文化に触れるとともに、原村の未来のために真剣に取り組む皆さんに学んで考えを深め、一月の「中学生議会」へつなげていきます。

